

U.S. Smart Mobility Corridor V2X 実証実験

SAFE SWARM は、車両と車両およびインフラを通信技術でつなぎ、安心して快適な移動の提供を目指したコンセプトです。

現在、オハイオコロバス地域と Honda R&D Americas, Inc をつなぐ 33 Smart Mobility Corridor を走行する 200 台の車両への Safe Swarm (V2V および V2I) 機能の搭載を予定しております。

また、本プロジェクトは、ホンダの Future Mobility ビジョンである全ての交通参加者に対する価値提供に沿ったコンセプトです

本プロジェクトはオハイオおよびその自治体との協業の成果の一つであり、V2X 普及の加速を目指し、さらなるパートナーの参画を広く募集しております。

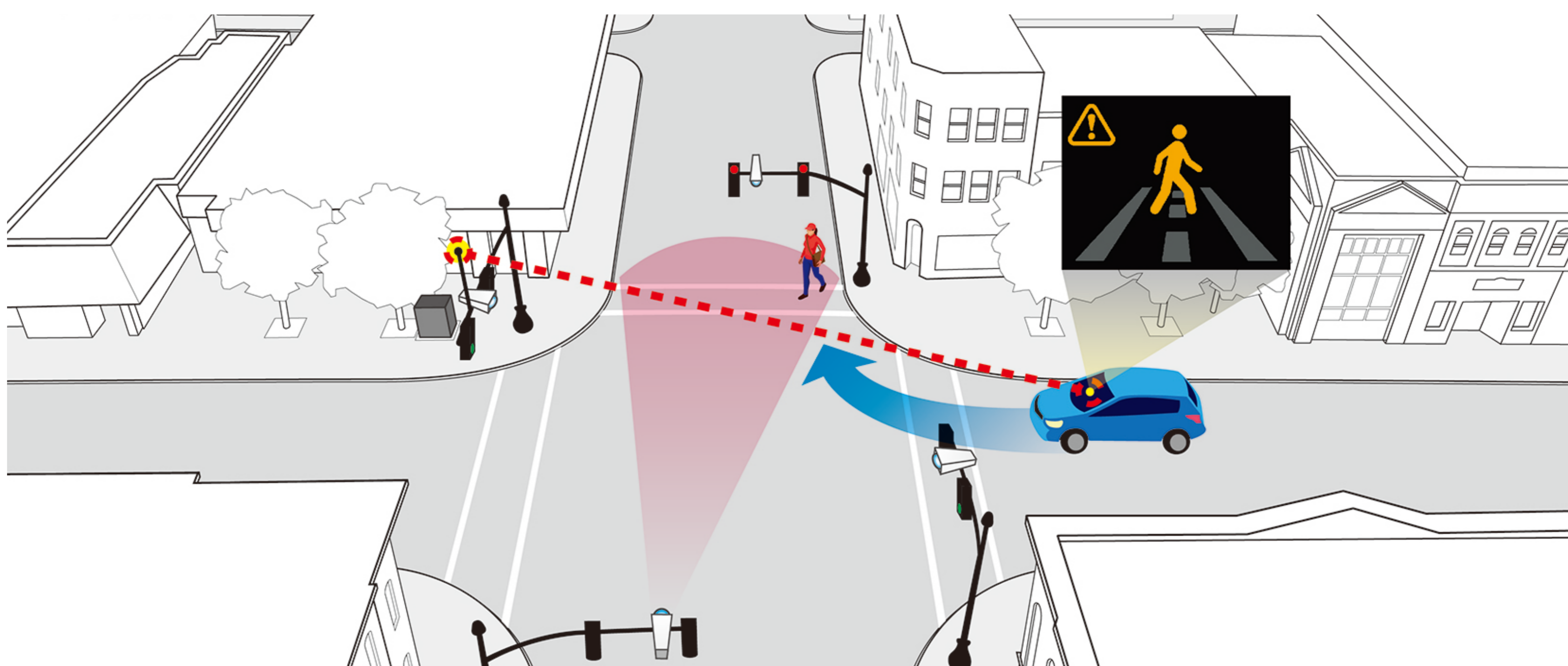
Smart Mobility Corridor

Safe Swarm 機能の検証を目的とした、V2X 高密度環境の実現



Smart Intersection

インフラを活用し、V2X 非搭載車両の情報を V2X 搭載車両へ発信



ホンダが実証実験を行っている V2I は、通常車両のみならず、歩行者、緊急車両も検知可能

